

対象国の条件：原則、アジア太平洋地域が対象だが、その他の地域からも受入は可能

研修コース番号：J1804294

案件番号：1884647

主分野課題：ガバナンス/統計

副分野課題：

使用言語：英語

**案件概要**

本研修プログラムでは、SDG関連統計のために、地理空間情報、ビッグデータ、その他の行政データといった新しいデータソースの活用及び従来の統計調査とは異なる手法の適用について学び、政府統計部局における革新的な能力の強化を目的とする。加えて、本研修プログラムではSDG関連統計の詳細な区分ごとの集計のために、従来とは異なる補足データの利用に関する能力向上を図る。

目標/成果	対象組織/人材	
<p><b>【案件目標】</b> SDG関連統計のために、新たなデータソース及び手法を利用することに関する政府統計職員的能力を強化する。</p> <p><b>【成果】</b> この研修の成果としては、以下を狙う；                      1. 統計の枠組み及びそれを様々なSDG指標へ対応させる方法を理解する                      2. SDGsに対応するデータの抽出のため、従来の統計調査とは異なる新たなデータソース（地理空間情報、ビッグデータ及びその他の行政データ）を利用する実践的能力を強化する                      3. 既存の行政データソースをSDGの目的に沿うような形で活用するための効率的で適切な技術を強化する                      4. 新たなデータソースの質を査定する能力を強化する                      5. 自国における新たなデータソース及び新たな手法の活用に関するアクションプランを作成する</p>	<p><b>【対象組織】</b> 国家統計局及び政府統計部局</p> <p><b>【対象人材】</b> SDGsのモニタリングのための統計及び指標の作成に携わる中級レベルの政府統計職員</p>	
<p><b>内 容</b></p> <p>1. 持続可能な開発の概念の理解                      2. 実務における持続可能な発展（SDGsとは、ターゲットの達成状況の測定方法）の理解                      3. SDG指標；統計調査及び統計調査と異なるデータソースの確認                      4. SDG指標の収集のための統計調査及び新しいデータソースへの新しい技術の適用                      5. データ収集及び分析のための従来の統計調査とは異なる統計手法に係るケーススタディ（CAPI（PCを利用した面接調査法））                      6. アクションプランの作成</p>	<p><b>本邦研修期間</b></p> <p>2019/1/23～2019/3/9</p>	
	<p><b>担当課題部</b></p>	<p>産業開発・公共政策部</p>
	<p><b>所管国内機関</b></p>	<p>JICA東京（産業公共）</p>
	<p><b>関係省庁</b></p>	<p>総務省</p>
	<p><b>実施年度</b></p>	<p>2018～2020</p>
<p><b>主要協力機関</b></p>	<p>国連アジア太平洋統計研修所(UNSIAP)</p>	
<p><b>特記事項及びホームページ</b></p>	<p>国連アジア太平洋統計研修所（SIAP）と共同で実施                      (URL) <a href="http://www.unsiap.or.jp/">http://www.unsiap.or.jp/</a></p>	